

## 第41回 お茶の水女子大学日本語文化学会プログラム

2010年12月11日(土)午後1時30分開会

◎ポスター発表 午後2時～2時50分

「共生日本語教育実習における実習生の協働-言語的共生化過程の研究-」

平野美恵子(淑徳大学)

「共生日本語教育実習は「日本語教師にならない人」に何を提供できるか—日本語教師養成プログラムの教育的意義に関する一考察—」

鈴木寿子(お茶の水女子大学大学院研究員)

「2010年度共生日本語教育実習報告-参加者の振り返りから、言語教育を考える-」

秦松梅、石曉雯、鄭士玲、マフラコワ・アレクサンドラ、山口優希子(お茶の水女子大学大学院生)

嶋野礼子(お茶の水女子大学大学院科目等履修生)

「言語少数派生徒の在籍級の授業参加をめざす学習支援環境の構築—「教科・母語・日本語相互育成学習」を柱組みとして」

清田淳子(立命館大学) 宇津木奈美子、高梨宏子(お茶の水女子大学大学院生)、

三輪充子(東京医科歯科大学)、山口優希子(お茶の水女子大学大学院生)、劉雲霞(お茶の水女子大学大学院研究生)

「中国人留学生は「日本人の友達」を巡ってどのような体験をしているのか—SCQRMを用いた視点提示型研究—」

佐々木泰子(お茶の水女子大学)、

田中詩子、鄭士玲、張瑜珊、夏素彦(お茶の水女子大学大学院生)、西條剛央(早稲田大学)

「在タイ日系企業のタイ人社員の働くことに関する認識構造」

河先俊子(フェリス学院大学)、劉娜(お茶の水女子大学大学院生)、穆紅(大連理工科大学)、

矢高美智子(茨城大学)、スニーラット・ニャンジャロンスック(お茶の水女子大学大学院修了生)、

チンプラサートスック・パチャリー(お茶の水女子大学大学院修了生)、岡崎眸(お茶の水女子大学)

「中国語幼児の第二言語としての日本語習得プロセス—自他動詞習得に焦点を当てて—」

趙翌(お茶の水女子大学大学院生)

「JFL環境の上級中国人学習者に対するグループワークによる語彙学習の試み—動詞「掛ける」を例に—」

高瑩(お茶の水女子大学大学院生)

◎研究発表 午後3時～5時10分

<第1分科会> 司会: 田崎敦子

「多義語のプロトタイプの意味の認定法をめぐる一考察—同土「とる」を事例に—」

王 亜茹(お茶の水女子大学大学院生)

「映画シナリオにおける「助言・忠告」表現選択についての社会言語学的一考察」

高橋貴子(お茶の水女子大学大学院研究生)

「中国の基礎日本語授業における自律的学習の実践活動」

方英愛(お茶の水女子大学大学院研究員)

<第2分科会> 司会: 池田広子

「インドネシアにおける内容重視のグループリーディングの試み—対話的問題提起学習を取り入れて—」

アリアンティ・ヴィシアティ(お茶の水女子大学大学院生)

「『相互育成学習モデル』に基づく支援活動における子どもと母語話者支援者との横の関係」

王植(お茶の水女子大学大学院生)

「2言語を4年間育成した子どもの会話力—OBCテストの結果から—」

滑川恵理子(お茶の水女子大学大学院生)

◆ 第40回日本語文化学会運営協力者(敬称略)

田中詩子、池田聖子、脇川友恵、山口優希子、呉孟嬌、趙翌、鄭士玲、秦松梅、蔡馨宜、メグリアングライ・ボンティパー、マフラコワ・アレクサンドラ、石曉雯、鈴木(清水)寿子、村中雅子